

回想法センター・2月号

平成26年 1月31日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5丁目9番地7
電話・FAX 0297-65-4443
e-meil pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

厳しい寒さが続きます

支えあってゆきたい

世界でも例のないような急速に高齢化が進む日本を、世界が注目しています。福岡県では地域住民と行政がひとつになって「お年寄りの住みやすい街」を目指す取り組みをしています。中でも、久留米市では「自由に徘徊が出来る町」を目指し、市、地域、住民が一つになって取り組んでいます。ユニークな発想に夢が膨らみます。

龍ヶ崎市回想法センターも、高齢者が生涯学習として、回想法を学ぶことで元気に暮らせるように、歴史民族資料館で「回想ガイド活動」を平成18年1月より始め、今年で8年目になります。

心に、体に、問題を抱えたお年寄りの方々が通ってきては、資料館で自分できる事を見つけ、ボランティア活動を生き活きと続けてきました。

愛され・褒められ・人の役に立ち・人に必要とされることで、誰もが元気な笑顔を取り戻してゆきます。これからも「出来る人が、出来る事を、



無理なく、楽しく、負担なく」を合言葉に、ボランティア活動を続けて行きます。

住みやすい街になったら

3・11の東日本大震災の後、市民から「避難所では、被災者も支援者にならないといけない」という声が聞こえてきました。障害のある方、高齢者など、特に目に見えない障害を抱えた子どもやお年寄りが、回りの理解が得られずに避難所で暮らすことができなかつたと報告されています。いつ、何処で、どんな災害が起きるのか分かりません。それなら、せめて、自分の住む街には、どんな障害者が住んでいて、その障害はどんな特徴の障害なのか、どんな手助けが必要なのか、知っておきたいものです。親や、地域住民の高齢化が深刻な状況になっています。まづはお年寄りと、どう接するのがいいのか知っていれば、町の中で、お年寄りに気軽に声もかけられるし、徘徊の予防にもなでしょう。弱者が住みやすい町は、誰でも住みやすい町になると思います。龍ヶ崎にも、「おばあちゃんの原宿」といわれている「巣鴨の刺抜き地蔵」のような賑わいが生まれたらいいな～と思っています。

2月25日(火)お年寄りの心に寄り添える傾聴ボランティア講座を開催します。貴方からはじめる心のバリアフリーで、暮らしやすい町にして見ませんか。詳細は、ホームページをご覧ください

2月の予定

回想ガイド

開催場所 歴史民族資料館

開催時間 13時30分～15時30分

開催日 4日(火)7日(金)、21日(金)

おしゃべりサロン

開催場所 龍ヶ崎市役所 元地下食堂

開催時間 14時～16時

開催日 10日(月)24日(月)

問い合わせ先

龍ヶ崎市回想法センター 電話 0297-65-4443